吉川市下水道事業経営戦略（素案）に対するご意見の内容とそれに対する市の考え方

吉川市下水道事業経営戦略（素案）に対するパブリック・コメントを実施した結果、１件のご意見をいただきました。提出されたご意見について十分に検討の上、それに対する市の考え方を次のとおりまとめましたのでお知らせします。

なお、吉川市下水道事業経営戦略（素案）に対するご意見の内容とそれに対する市の考え方については、河川下水道課の窓口でも閲覧できるようになっております。貴重なご意見ありがとうございました。

１．募集期間

令和７年１２月１５日（月曜日）から令和８年１月１５日（木曜日）まで

２．意見応募状況

（１）提出者　１名

（２）意見件数　１件

（３）意見提出方法の内訳

電子メールによるもの　１件

ご提出していただいたご意見については、住所・氏名などの個人情報を除き、原則として全文をそのまま転記したものを掲載しています。

No.	提出のあったご意見	ご意見に対する市の考え方
1	改定パターンで改定率の合計（68%）を示していますが、どのような意味があるのでしょうか？ パターン①～③ともに、令和１０年以前と令和３５年度以降を比較すると、86.8%～88.8%上昇します。 改定率の誤解を与えてしまうと思います。	吉川市下水道事業経営戦略（素案）の 32 ページの（4）改定率ごとのシミュレーションパターンにおける、改定率の合計（68%）につきましては、現行の使用料体系に基づく使用料収入見込みからの改定率を示しています。 いただいたご意見を踏まえ、注釈を追記いたしました。

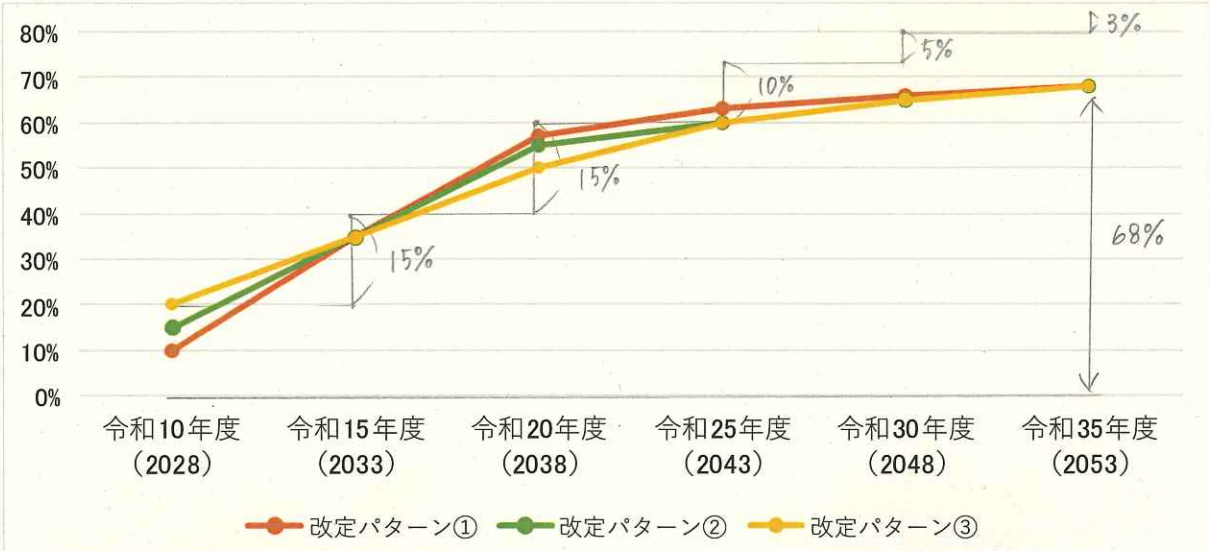
■使用料改定にあたり達成すべき経営指標の目標

	目標数値
累積欠損金比率[14]	計画期間内すべて 0%
経費回収率	計画期間内すべて 100%以上
流動比率	計画期間内すべて 120%以上

（4）改定率ごとのシミュレーションパターン

前項の経営指標の各数値目標を達成する３つのシミュレーションパターンを設定し、今後の使用料改定案を検討しました。なお、使用料の改定頻度は、経営戦略の改定に合わせるものとして、５年ごとの改定案としています。

■今後 30 年間の使用料改定のパターン別比較



	令和10年度（2028）	令和15年度（2033）	令和20年度（2038）	令和25年度（2043）	令和30年度（2048）	令和35年度（2053）	計
改定パターン①	10%	25%	22%	6%	3%	2%	68%
改定パターン②	15%	20%	20%	5%	5%	3%	68%
改定パターン③	20%	15%	15%	10%	5%	3%	68%

※各改定パターンにおける「計 68%」は、現行使用料体系に基づく使用料収入見込からの改定率を示しています。

[14]累積欠損金比率とは、営業収益に対する累積欠損金の状況を表す指標です。